

第36回緑の都市賞 及び 第27回緑の環境プラン大賞 受賞者決定

公益財団法人都市緑化機構では、人々の暮らしに潤いと安らぎを与え、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全に寄与する都市の緑地保全と緑化推進の普及啓発を目的に「緑の都市賞」「緑の環境プラン大賞」を実施しております。

このたび、厳正な審査の結果、受賞者が決定いたしました。

1. 第 36 回「緑の都市賞」(主催：都市緑化機構、特別協賛：第一生命保険)

樹木や花、水辺などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化、青少年の育成等に取り組み、環境や社会に対する貢献の実績と成果をあげている団体等を顕彰するものです。(詳細 P2-P4)

◎内閣総理大臣賞：

- ・森ビル株式会社（東京都港区）（都市における生態系と防災のレジリエンスを高める、みどりのネットワーク～みどりの拠点づくりと、それをつなぐ回廊の創生へ～）（緑の事業活動部門）

◎国土交通大臣賞

- ・生田緑地マネジメント会議 / 生田緑地運営共同事業体 / 川崎市建設緑政局緑政部生田緑地整備事務所（神奈川県川崎市）（川崎市生田緑地における協働のパークマネジメント）（緑の市民協働部門）
- ・キリンビール株式会社 横浜工場（緑の事業活動部門）
- ・愛知県東海市（緑のまちづくり部門）

2. 第 27 回「緑の環境プラン大賞」(主催：都市緑化機構、第一生命保険、第一生命財団)

緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティ醸成、環境保全の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプランの実現のために緑化整備費を助成するものです。(詳細 P5-P8)

① シンボル・ガーデン部門（助成金額：上限 1,000 万円）

◎国土交通大臣賞

- ・株式会社キャッセン大船渡（岩手県大船渡市）「『千年広場』プロジェクト」

◎緑化大賞

- ・学校法人ろりぽっぷ学園（宮城県仙台市）「いぐねのにわーほかならぬ場所ー」
- ・社会福祉法人敬愛福祉会敬愛保育園(熊本県玉名市)「地域の緑側／MoMOの森」

② ポケット・ガーデン部門（助成金額：上限 100 万円）

◎国土交通大臣賞

- ・真言宗豊山派圓乗院（東京都世田谷区）「世田谷ポケットナーセリー」

◎コミュニティ大賞

- ・特定非営利活動法人とめタウンネット(宮城県登米市)「おおあみコミュニティグリーンプロジェクト」
- 他、8 点

③ 特別企画「おもてなしの庭」（助成金額：上限 2,020 万円）

- ・公益財団法人東京都公園協会（東京都千代田区）「日比谷公園おもてなしのバラ園」

第 36 回 緑の都市賞 審査結果

第 36 回「緑の都市賞」には、全国から 45 点の応募があり、2016 年 9 月 6 日の第一次審査委員会、現地調査、及び 9 月 28 日の第二次審査委員会を経て、次の団体の受賞を決定しました。

◎内閣総理大臣賞 [1点]

受賞部門	受賞者名	名称/場所	概要	
緑の事業活動部門	森ビル株式会社	都市における生態系と防災のレジリエンスを高める、みどりのネットワーク～みどりの拠点づくりと、それをつなぐ回廊の創生へ～ (東京都港区)	「環境・緑」と「安全・安心」をテーマとし、都市の魅力と国際競争力を高めることは、街づくりに取り組んでいる。職・住・遊・商・学・文化など様々な都市機能をコンパクトにまとめ、地上部緑地を創出し、個々の緑地がネットワークし高い機能を発揮するよう、点から線へ、地域へつながる緑のまちづくりに取り組んでいる。	

◎国土交通大臣賞 [3点]

受賞部門	受賞者名	名称/場所	概要	
緑の市民協働部門	生田緑地マネジメント会議 生田緑地運営共同事業体 川崎市建設緑政局緑政部 生田緑地整備事務所	川崎市生田緑地における協働の パークマネジメント (神奈川県川崎市)	豊かな自然資源の保全と、文化レクリエーションの利用促進の両立が求められている生田緑地において、長い歴史を背景に、緑地に関わる多様な主体の連携・協働による、緑地の運営管理が進められており、保全と利用の好循環が実現している。	
緑の事業活動部門	キリンビール株式会社 横浜工場	キリンビール株式会社 横浜工場 (神奈川県横浜市)	住宅や工場が混在した古くより都市化の進んだ地域において、敷地内の積極的な緑化し、ビオトープなど多様な生物の生息空間の創出するほか、美しく快適な緑地を地域の方々に開放し、憩いの場、学びの場として提供している	
緑のまちづくり部門	東海市	愛知県東海市	全国に先駆け「緑化及び花いっぱい推進条例」の制定など緑化推進に努めてきた。最近では、緑の基本計画に基づき、玄関口である太田川駅周辺の整備、歴史資源を活用した散策路整備、加木屋緑地の保全・活用がなされ充実した緑のまちづくり推進されている。	

◎都市緑化機構会長賞 [3点]

受賞部門	受賞者名	名称/場所	概要	
緑の市民協働部門	豊島区立仰高小学校 NPO法人コミュニティランドスケープ	仰高樟の樹 ビオトープの里山 けやき会 (東京都豊島区)	樹齢 70 年超の樟の樹をシンボルとした里山ビオトープを児童参加の下整備した。地元のまちづくり NPO が受け皿となり、PTA 有志等と保護者グループが環境・社会教育授業のプログラムを設定し環境教育活動と共に緑地の管理運営を行っている。	
緑の事業活動部門	曹洞宗 金剛寶山 輪王寺 エスベックミック 株式会社	輪王寺の森づくり (宮城県仙台市)	かつて樹高 20m を超える杉並木であった参道が、敷地の下を通り抜ける県道トンネル工事のため殆どが伐採された。そこで、生命力あふれる森づくりをコンセプトに参道の復旧に取り組んでおり、その経験を震災復興の森づくりに生かし取り組んでいる。	
緑の事業活動部門	ダイビル株式会社 株式会社日建設計	新ダイビル堂島の杜 (大阪府大阪市)	半世紀前に、屋上緑化の先駆けとして誕生した、旧「新ダイビル」の屋上樹苑に込められた想いを「堂島の杜」整備に継承。屋上樹苑で育ったケヤキやモミジ等の樹木の一部を移植し、「樹木」と森づくりの「精神」の継承した緑地を新たに創出。	

◎奨励賞 [4点]

受賞部門	受賞者名	名称/場所	概要	
緑の市民協働部門	かわごえ環境ネット自然環境部会	(仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動 (埼玉県川越市)	武蔵野の雑木林の自然の保全を市民協働で進め、貴重な生物多様性に富む自然を次世代に引き継ぐこと、またこれらを活用することにより、レクリエーションの場、自然環境学習の場を市民や学童に提供している。	
緑の市民協働部門	厚木市立厚木中学校	緑で結ぶ人の縁 (神奈川県厚木市)	年3回にわたり、本厚木駅前広場から松枝線 500m の街路樹下に、地元市民団体とともに、花の植栽活動を行っている。校内の植物の剪定や、校外数か所の花壇づくり等にも生徒が参加するなど広く活動している。	
緑の市民協働部門	奈良・人と自然の会	歴史的風土景観形成事業ボランティア (奈良県奈良市)	「歴史的風土を次世代に受け継ぐ」ことを一つの理念に、世界遺産に登録された特別史跡平城宮跡を取り巻く歴史的風土特別保存地区内の里山を保全すると共に、子ども達を対象とした環境教育活動を展開している。	
緑の事業活動部門	堺自然ふれあいの森指定管理者 ふれあいの森パートナーズ	堺自然ふれあいの森 (大阪府堺市)	「森の学校」をテーマに、人と里山との新しい関わり方を学び、里山文化を継承する場となる公園づくりを目指し、市民・行政・研究機関・事業者の協働で、計画から公園づくり、運営に取り組んでいる。	

第 36 回 緑の都市賞 の概要

■ 目的

明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組み、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに都市の緑の保全や緑化の推進に個性的な施策に取り組み、顕著な成果を上げている公共団体を顕彰し、緑豊かなまちづくりの普及と実現を目指すものです。

■ 募集の対象

緑の市民協働部門	応募資格：主に市民団体 ボランティアを基本とした緑化活動で、地域の社会や環境へ貢献するものとします。
緑の事業活動部門	応募資格：主に民間事業者 ・民間、公共を問わず都市の緑の保全や創出を事業活動またはその一環として取り組んでいるものとします。 ・NPO 法人等でも、公園の指定管理者など活動の大半を委託事業として取り組んでいるものも含まれます。 ・学校や病院等でも、業者委託での緑地の整備や管理なども含まれます。
緑のまちづくり部門	応募資格：主に市区町村 都市全般の緑化に取り組み、その成果をあげているもので、地域の個性を活かした緑化を展開しているものとします。

■ 表彰

内閣総理大臣賞	1 点 [副賞 20 万円 (活動助成金)]
国土交通大臣賞	3 点以内 [副賞 15 万円 (活動助成金)]
都市緑化機構会長賞	3 点以内 [副賞 10 万円 (活動助成金)]
奨励賞	若干 [副賞 5 万円 (活動助成金)]

※副賞の活動助成金は「緑の市民協働部門」の受賞団体のみを対象。

■ 審査委員

委員長	樺山 紘一	印刷博物館 館長
委員	池邊 このみ	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授
	石川 幹子	中央大学 理工学部人間総合理工学科 教授
	井上 洋	一般社団法人 日本経済団体連合会 教育・スポーツ推進本部長
	栗田 卓也	国土交通省 都市局長
	陣内 秀信	法政大学 デザイン工学部建築学科 教授
	野口 智子	ゆとり研究所 所長
	涌井 史郎	東京都市大学 環境情報学部環境情報学科 教授
	渡邊 光一郎	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	宮下 和正	公益財団法人 都市緑化機構 専務理事

■ スケジュール

募集期間	2016年4月1日～6月30日	入選発表	2016年10月17日
審査会	2016年9月6日、28日	表彰式	2016年11月11日於：明治記念館

■ 主催等

主 催	公益財団法人都市緑化機構
後 援	国土交通省、総務省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会
特別協賛	第一生命保険株式会社
協 賛	日本商工会議所、公益社団法人日本青年会議所、一般社団法人日本公園緑地協会、 一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般財団法人公園財団、 一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、 公益財団法人河川財団、一般社団法人日本建設業連合会

第 27 回 緑の環境プラン大賞 審査結果

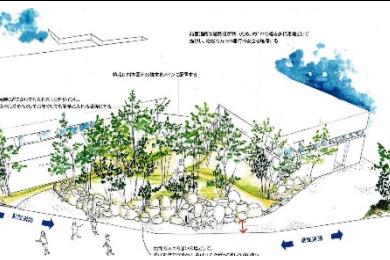
第 27 回「緑の環境プラン大賞」へは全国から、シンボル・ガーデン部門 14 点、ポケット・ガーデン部門 31 点、特別企画「おもてなしの庭」4 点、計 49 点の応募があり、2016 年 9 月 15 日の審査会において次の作品の受賞を決定しました。

■シンボル・ガーデン部門（1 点当たりの助成上限金額：1,000 万円）

◎国土交通大臣賞 [1 点]

受賞者名	プラン名/緑化場所	プラン概要	
株式会社 キャッセン 大船渡	「千年広場」 プロジェクト (岩手県大船渡市)	震災復興による新たなまちづくりにおいて、大船渡市の街の真ん中に四季の移ろい、草花の匂い、緑のやさしさ等、自然のやさしい側面を感じさせる広場を創出するプラン。自然と共に暮し、共に育つ、末永く地域で育むことができるようにとの願いを、「千年広場」の実現により未来に伝えていく。	

◎緑化大賞 [2 点]

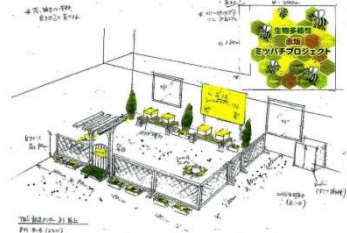
受賞者名	プラン名/緑化場所	プラン概要	
学校法人 ろりぽっぷ 学園	いぐねのにわ ーほかならぬ場所ー (宮城県仙台市)	震災によりがらりと景観を変えた仙台市若林区において、仙台平野の原風景である「いぐね」を、子どもたちを育む広場に創出するプラン。ひとつの集落のように皆が集い、地域の人たちが改めて自然の尊さ、豊かさ心地よさを感じ、元気に遊ぶ子供達の声が絶えない明るい地域づくりを目指す。	
社会福祉法人 敬愛福祉会 敬愛保育園	地域の縁側／ MoMOの森 (熊本県玉名市)	熊本地震に直面し、地域の連携やパブリックスペースの大切さを痛感した経験から、保育園の外構部に、地域の人々が寄り添える緑の空間(地域の縁側)を創出するプラン。接道部に自然石のベンチや木陰をつくり、子どもたちや地域の人々が普段から交流できる場所が生まれることを目指す。	

■ポケット・ガーデン部門（1 点当たりの助成上限金額：100 万円）

◎国土交通大臣賞 [1 点]

受賞者名	プラン名/緑化場所	プラン概要	
真言宗豊山派 圓乗院	世田谷 ポケットナーセリー (東京都世田谷区)	空家を活用し、公園の少ない密集市街地に緑陰と集まる場としてのコミュニティ広場を創出し、地域を育てるナーセリーとなる場を目指す。郷土の樹種の種苗園を設け、地域の核となる緑を生育、配布し地域の緑資源を育てる。	

◎コミュニティ大賞 [9 点]

受賞者名	プラン名/緑化場所	プラン概要	
特定非営利 活動法人 とめタウンネット	おおあみコミュニティ グリーンプロジェクト (宮城県登米市)	アルテラスおおあみの空き敷地を活用し、東日本大震災被災者と地域住民らが協働で植栽や定期的なイベントを通して出会い、生きがいを見つけ、居場所を得るという、地域全員参加型の緑化事業を行う。	
オープンガーデン・うらやす ガーデン トーククラブ	ようこそ！ トピアリーの世界へ！ (千葉県浦安市)	浦安市新庁舎の花壇でキンメツゲを動物の形に刈り込んで、見て楽しい緑の「トピアリーガーデン」の実現を目指す。子供たちにもハサミを持たせ、遊びながら植物に触れる機会を増やしていく。	
上尾市立 東町小学校 おやじの会	地域と育む みどりの学校 ファーム & ガーデン (埼玉県上尾市)	小学校内の畑に隣接する空地を活用し、児童や地域の方々が四季折々の草花とふれあい・集える場を学校応援団やPTA等と連携を図りながら、緑の創出・管理を行っていく。	
社会福祉法人 育愛会 明日香保育園	天使たちの苑 (東京都北区)	花と緑の豊かな園庭を作り、保育園の横をお散歩する方々がモッコウバラのアーチをくぐり、園庭のベンチに座って、園児達と交流することを目指す。	
TOKYO STREET GARDEN	上野桜木・桜緑荘 リノベーション プロジェクト (東京都台東区)	子育て・地域交流サロンとして運営されている空き家の庭をリノベーションし、植木鉢交流サロンとしての活用や、地域住民との協働による植栽の実施、ベンチを置いての交流スペースを作りだす。	
赤坂みつばちあ 及び TBS テレビ	赤坂 BeeTown プロジェクト (東京都港区)	「楽しめる屋上緑化とミツバチによる生物多様性」をテーマにTBSテレビ社屋の屋上で養蜂を実施している。今回、ミツバチが蜜や花粉を集めるプランターを倍増し、多様性を図る。	
Joy of Roses	太陽ローズガーデン 環境整備 (神奈川県横浜市)	2017年に花壇造成15周年を迎えるにあたり、バラの株数の増加とともに老朽化した枕木等の改修を図り、バラ花壇の再整備を行う。	

春江大好きプロジェクト	小児科となりのセラピーガーデン (福井県坂井市)	小児科病院の隣に造成したセラピーガーデンのバラ苗を追加する他、ハーブ類を加え、病院を訪れる親子だけではなく、地域の人々が集まる場として改良を行う。	
特定非営利活動法人地球デザインスクール	ハッチョウトンボのジュル田プロジェクト (京都府宮津市)	京都府の準絶滅危惧種・ハッチョウトンボの生息環境を維持するために、丹後海と星の見える丘公園の湿地の修景を行う。	

緑の環境プラン大賞 特別企画「おもてなしの庭」審査結果

緑の環境プラン大賞「おもてなしの庭」助成プログラムは、東京都が策定した『東京都長期ビジョン～「世界一の都市・東京」の実現を目指して～』の中で、2020年の東京の姿として、おもてなしの精神が全世界に発信されていることを目指していることにちなみ、東京都内の花と緑で観光客を迎える優れた緑化プランに対し、2020万円を上限としその整備費を助成するものです。今回は4点の応募があり、9月15日の審査会において次の作品の受賞を決定しました。

◎緑の環境プラン大賞「おもてなしの庭」大賞 [1点]

受賞者名	作品名	場所
公益財団法人東京都公園協会	日比谷公園おもてなしのバラ園	東京都千代田区
プラン概要		プランイメージ
テーマは Japanese Delegate = 日本代表 我国最初の洋風公園として開園した日比谷公園において、開園当初から姿の変わらない第一花壇をレイアウトは変えずに植物の植替えによって再生し、海外からのお客様をお迎えするのにふさわしい場とするプラン。 日比谷公園第一花壇を、世界からミスターローズと言われた鈴木省三氏を筆頭とした日本を代表する育種家によるバラの品種が一同に会し、見比べることが出来る稀有なバラ園とするとともに、オリンピック・パラリンピック時にも花や植物を観賞できるように「おもてなしのバラ園」としてリニューアルし、2020年に向けての地域の機運の醸成を目指す。		

第 27 回 緑の環境プラン大賞 の概要

■ 目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等を図るものです。また、東京都内を対象として「おもてなしの庭」プランを公募し、優れたプランを表彰・助成することで、花と緑で観光客を迎えるおもてなし空間の創出を図ります。

■ 募集の対象

シンボル・ガーデン部門	全国を対象	地域のシンボリックな緑地として、緑の持つヒートアイランド緩和効果、生物多様性保全効果等を取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ緑地のプランを募集します。
ポケット・ガーデン部門	全国を対象	日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだ花や緑のプランを募集します。
特別企画 「おもてなしの庭」	東京都限定	2020年に向けた特別企画として、花と緑で観光客をお迎えする魅力ある緑の創出、およびその場所でのおもてなしの活動に関するアイデアを盛り込んだプランを東京都内限定で募集します。

■ 表彰

● シンボル・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞1,000万円以内（工事に対する助成金）
緑化大賞	2点以内	副賞1,000万円以内（工事に対する助成金）

● ポケット・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞100万円以内（工事に対する助成金）
コミュニティ大賞	9点以内	副賞100万円以内（工事に対する助成金）

● 「おもてなしの庭」プラン

おもてなしの庭大賞	1点程度	副賞2,020万円以内（工事及び活動に対する助成金）
-----------	------	----------------------------

■ 審査委員

委員長	進士 五十八	東京農業大学 名誉教授 / 福井県立大学 学長
委員	金子 忠一	東京農業大学 教授
	栗田 卓也	国土交通省 都市局長
	永山 妙子	マネジメントコンサルタント
	藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
	松本 肇	株式会社産業経済新聞社 取締役 営業・事業担当
	村上 暁信	筑波大学 システム情報系 教授
	渡邊 光一郎	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	小野 文夫	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	宮下 和正	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

■ スケジュール

募集期間	2016年4月1日～6月30日	入選発表	2016年10月17日
審査会	2016年9月15日	表彰式	2016年11月11日 於：明治記念館

■ 主催等

主 催	公益財団法人都市緑化機構、第一生命保険株式会社、一般財団法人第一生命財団
後 援	国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、東京都（おもてなしの庭）
協 賛	一般社団法人建設広報協会、一般社団法人日本公園緑地協会、 一般社団法人日本造園建設業協会、都市緑化基金等連絡協議会
協 力	株式会社フジテレビジョン、株式会社産業経済新聞社、株式会社ニッポン放送